

としま **生きもの**のさがし

ニュースレター 令和2年号

編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課



今年もみんなで見つけました！

ちょうさきかん 調査期間

れいわ 令和2年6月15日～9月30日

豊島区の身近な生きものを調べて調査レポートを送っていただく「としま生きものさがし」は、今年度で6年目になりました。例年よりたくさんの写真も送っていただきました。今年も新たな発見がありましたよ。



アズチグモ 巣鴨三丁目

花に隠れて、昆虫を待ち伏せしています。



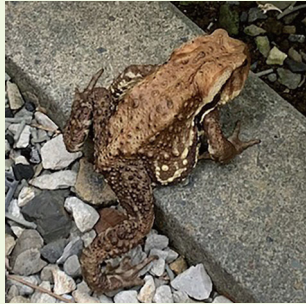
ゴマダラチョウ 目白四丁目
樹液を吸いに来ていました。区内では珍しいチョウです。



アゲハ 上池袋二丁目
花にとまっているようすが美しいです。



コゲラ 巣鴨三丁目
日本で一番小さなキツツキ。



アズマヒキガエル

上池袋二丁目
家の庭に住んでいることもあるようです。



オオシオカラトンボ 南長崎六丁目
シオカラトンボとよく似ていますが、顔の色が黒いことで見分けられます。



セイヨウミツバチ 南長崎六丁目
せっせと蜜や花粉を集めていました。

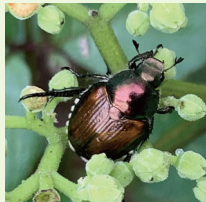


アブラゼミ 長崎六丁目
どこで鳴いているのか見つけた！



ニホンカナヘビ 千早四丁目

区内ではなかなか見つけられません。



マメコガネ

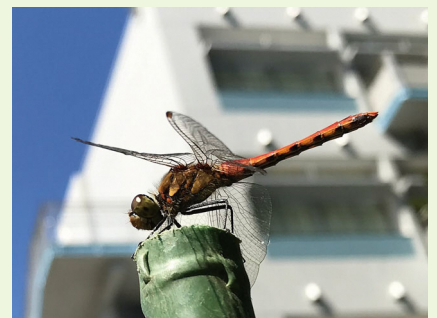
千早四丁目

両脚をピンと上げて威嚇します。



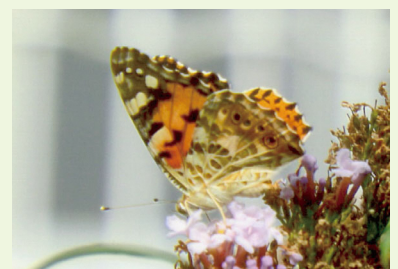
ムクドリ 長崎六丁目

巣立ってからしばらくは親から食物をもらいます。



アキアカネ 南池袋三丁目

夏は山にいて、秋になるとやってきます。



ヒメアカタテハ 巣鴨三丁目

あたたかいところが好きです。



生きもの情報件数
957件 (861件)

参加人数
のべ521人 (421人)

さがしてほしい生きもの
711件 (661件)

※ () 内は令和元年度の数字

第1位 チョウのなかま

公園、小学校、保育園、幼稚園の花壇などにいました。



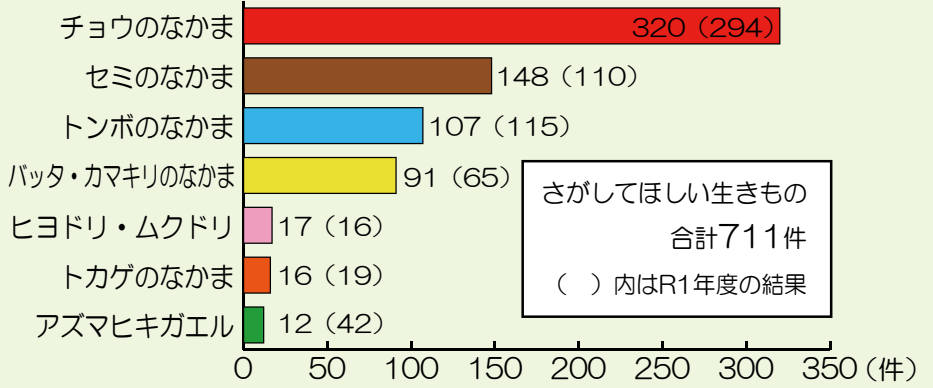
第2位 セミのなかま

姿は見つけにくいですが、鳴き声をきいて探してもらえたようです。



第3位 トンボのなかま

公園、小学校、家の庭などに成虫がいました。



今年はチョウのなかまの件数が過去6年で最も多く、昨年度に引き続き、記録を更新しました。

区内で少なくなっているゴマダラチョウ、ニホンカナヘビの情報もありました。東京都の絶滅危惧種のツミ（タカのなかま）、ツバメ、ヒヨドリの子育て情報などもいただきました。



チョウのなかま 320件
アゲハチョウのなかま149件、モンシロチョウ51件、ヤマトシジミ39件、その他74件、種不明7件
写真：ツマグロヒョウモン 駒込五丁目



トンボのなかま 107件
シオカラトンボ37件、オオシオカラトンボ18件、アキアカネ17件、その他24件、種不明11件
写真：コシアキトンボ 目白三丁目



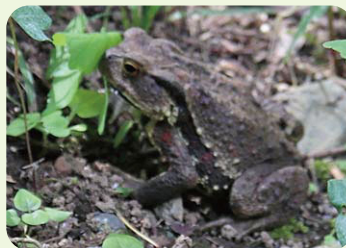
セミのなかま 148件
アブラゼミ71件、ミンミンゼミ51件、ツクツクボウシ13件、クマゼミ6件、その他2件、種不明5件
写真：ミンミンゼミ 南池袋三丁目



バッタ・カマキリのなかま 91件

バッタのなかま72件、カマキリのなかま17件、不明2件

写真：オオカマキリ 長崎三丁目



アズマヒキガエル 12件
公園、小学校、民家などで見つかりました。
写真：アズマヒキガエル 南池袋三丁目



トカゲのなかま 16件
ニホンヤモリ15件、ニホンカナヘビ1件
写真：ニホンヤモリ 千早四丁目



ヒヨドリ・ムクドリ 17件
ヒヨドリ 10件、ムクドリ 7件
写真：ムクドリ長崎六丁目



団体参加では、高松第二保育園の園児のみなさん、南長崎はらっぱ公園を育てる会のみなさんが参加していただきました。
たくさんの生きもの情報をありがとうございました。



参加してくださった皆様、ありがとうございました。

生きものトピックス

「としま生きものさがし」では、みなさんに多くの調査レポートを送っていただき、あまり知られていない区内での生きもの情報や、その場所・環境ならではの情報も集められました。今年の生きものさがしの調査レポートの中からいくつか生きもの情報を紹介します。



区内では珍しいトンボ

幅広い翅でチョウのようにも見えるチョウトンボの写真を送っていただきました。2012年以降の専門家調査でも見つからないトンボです。水草の多い比較的大きい池に生息するため、水辺の少ない豊島区では普通は見かけないトンボです。翅が幅広くしっかりしていて翅を広げると6~7cmほどで体も大きいので、飛翔力があるといわれています。見つかった場所はマンション5階の通路だそうです。マンションの屋上に水草を植えた小さな池があるそうですが、その池に一休みしに来ていたのかもしれませんが。本来の生息地まで無事にたどりついているとよいですね。



チョウトンボ 北大塚一丁目

ニホンヤモリが卵を産みました

小学生の参加者が、公園で見つけたニホンヤモリを家で飼いながら観察をして、写真を送ってくれました。木のかくれ家をつくってあげたら、そこに卵を2個産んだそうです。卵から生まれた赤ちゃんヤモリの写真も送ってくれました。しばらく観察したら、また元の場所に戻



ニホンヤモリと卵
(観察ケースを下から見たところ)

してあげるそうです。



卵から生まれた子ども

ツバメの子育て

マンションに巣を作って子育てをしているツバメの写真をいただきました。途中、巣から一部のヒナが落ちてしまったそうですが、巣の下にざると段ボールで新しい巣を作り、人間が親鳥のかわりに虫を食べさせ、生まれた5羽のヒナたちはみんな無事に巣立っていきました。

近くでヒヨドリも子育てをしていたそうです。

来年も来てくれるとよいですね。



ツバメ 東池袋二丁目

参加者の感想

いただいた感想の一部を、ご紹介します。

なんの生きものがかわからないから、図かんを見て生きものはかせになれそうです。(小学生)

子どもと歩くことが多いので、これなに?と言われることが多いです。『としま生きものガイドブック』を見て、コレ!と思ったものを書きました。気に入った虫のページはハサミで切って幼稚園の先生に見せると言っていました。(30代)

このイベントを通じて、池袋は大会都でありながら、身近に意外とたくさんの生きものが元気に生活していることに気づきました。生きものの鳴き声や姿をみながら、季節の変化を感じます。(40代)



はじめてせみのうかをしたところをみてがんばってるなーと、思いました。(小学生)

清和小学校のピオトープの整備の手伝いをし、観察を続けています。環境を整えれば、生きものは、やってくると実感しました。生きものに触れることの大切さを感じ、実物を見ることのできる環境作りをしていきたいです。(50代)

アゲハ、クロアゲハ、ツマグロヒョウモンが自宅の狭〜い庭の木、スミシに卵を産み育てていくのを毎年観察しています。又、隣接のお宅でシジュウカラが巣を作り巣立ち、今年は他のお宅でムクドリが巣立ち、自然がとても近くにあると思いはじめています。(60代)

学校ビオトープの生きもの

今年度は学校ビオトープの専門家による生態調査を行っています。それぞれのビオトープに特徴があり、素敵なビオトープになっていることが分かりました。以下に紹介するような区内では珍しい生きものも見つかっています。

仰高小学校



池にはキイトンボがいました。ぬげがらも見つかり、次の世代がこの池から無事に飛び立ったことが分かりました。夏は染井霊園からカブトムシが飛んでくるそうです。



キイトンボ



ぬげがら

西巢鴨小学校



池には、いろいろな水草が植えられています。水草に卵を産み付けるためにクロイトトンボが来ていました。校庭のタイヤの遊具の根元には



クロイトトンボ



コスミレ



3月から咲きます。

コスミレもありました。

南池袋小学校



昔からある林が残っていて、ウラシマソウという植物がありました。春に花が咲くとよいですね。



ウラシマソウの葉



ウラシマソウの花 (イメージ写真)

花の先端がつるのようにな長く伸び、浦島太郎が釣りをしている様子に見立てられています。

としま生きものさがしについて

なぜ、生きものをさがすの？

地球上には、たくさんの生きものたちがいろいろな場所で暮らし、お互いに支え合って生きています。「としま生きものさがし」は、みなさん自身で調べてもらうことで、身近な生きものへの理解や関心を深めていただくことを目指しています。

さがした結果はどうやって見るの？

ニュースレターや区のホームページ（生物多様性のページ）でお知らせします。これまでのニュースレターも区のホームページからダウンロードできます。

環境省運営のwebサイト「いきものログ」にも情報を入力していますので、区内にどんな生きものがいるか調べることができます。

どうやって参加するの？

2021年度の参加方法については、区の広報やホームページでお知らせします。
(2021年6月を予定)

ESD エスディーエス SDGs ってなあに？

ESD(エスディーエス)は英語の「Sustainable Development Goals」の略で「持続可能な開発目標」という意味です。地球上に生きる全ての人が安心して自分らしく、将来も今と同じような地球環境で暮らせるように、世界が直面している様々な課題を、協力しながら2030年までに解決することを目指しています。「としま生きものさがし」でみなさんにいろいろな生きものをさがしてもらうことは、15番目の目標「陸の豊かさを守ろう」につながっています。生きものたちがお互いに支えあって生きている豊かな環境があるからこそ、私たちの生活もうまくなりたっています。

みなさんも下の17の目標の中から、自分にできることを考えてみましょう。

